

ペーパークラフトを作ろう！

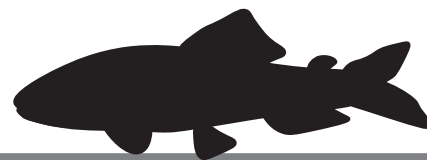
○森川里海のつながりを学ぶ

小学校学習指導要領対応

理科 第3学年 身近な自然の観察
第4学年 季節と動物
第5学年 動物の誕生
第6学年 生物と環境

社会 第3学年、第4学年
第5学年
第6学年

総合的な学習の時間



□所要時間

45分～

□場所

教室等の室内

□準備するもの（1人）

ペーパークラフト用紙

ハサミ

のり

ペン

キーワード

- ・森川里海・アユ・生活史・両側回遊魚
- ・ペーパークラフト・自然・ダム・堰・魚道

概要

- ペーパークラフトでアユや川の生き物を作成し、それを利用して形態や生活史や森川里海のつながりに関して学びます。

ねらい

- ①川は山から里（街）を通り海に流れていく過程を復習します。
- ②アユのペーパークラフト作成を通じて形態や特徴を学びます。
- ③アユの一生を学び、海と川を行き来する生き物がいることを学びます。
- ④ダムや堰などの施設や環境問題に触れ、人間生活の支障により、森川里海のつながりが弱まってきていることを学びます。
- ⑤今後どういう行動を取るべきかを考えます。

プログラムのポイント！

やり方の①～⑤をすべて行うとねらいを達成することができます

やり方

【導入】川と海のつながり

○テーマの紹介・・・①

「今日のテーマは森川里海のつながりについてです」
大抵はポカンとしているので、資料集内にあるイラストなどを使用し1から川の流れを復習します。

「川の水はどこから流れてくる？」

「川は山から流れてきて私達の住んでいる街や里を通り海に流れ着きます。山から海まで川でつながっているんだ。・・・」

○海と川を言ったり来たりしているアユの紹介

森川里海を学ぶためのペーパークラフトを作ることの動機づけをします。

※クラフト終了後丁寧に生活史を追うので丁寧にやらなくて良いです。

【本体】ペーパークラフトの作成

○ペーパークラフトの作成・・・②

～平均的な作業時間は15分程～

アユの種類は全3種類あり、稚魚、成魚、婚姻色の中から一種類選びクラフトの説明をする。

1. 全てのパーツを灰色の線にそって周りを切ります。
2. ヒレのパーツを点線で半分に山おり、裏をのり付けします。
3. 胴体パーツにヒレのパーツを見本を見ながら挟み込みのり付け
4. 胴体パーツは半分に折り、のりを付け入ります。
5. 胸ビレを同じマークの場所にのり付けします。

ホワイトボードや黒板を使用し山から海までの解説をしても良いです。

紙やハサミを使用するので手を切らないように伝えます。

説明終了後、ペーパークラフトの用紙やハサミ、のりを配ると説明を集中して聞くことができます。

対象年齢や少し不器用な参加者には胴体を切り離して貼り付けると上手に作成できます。

プログラムのポイント！

アユの生活史を伝える際に、季節や食性、アユの大きさなどの情報を伝えると、想像が付きやすくなるようになり、理解が深まりやすくなります。

ファクトシートや参考図書を参考にして見てください。

ダムは人にとって体節な施設であることを伝えると問題の難しさに気がつくことができます。

できることを伝える際は1～3つ以内で伝えると印象に残りやすいです。

○アユの生活史の理解・・・③

作成したペーパークラフトを使用しアユの生活史の理解を深めます。ファクトシートや資料を参考にアユの一生をめぐり解説をします。

指導者用教材の中にある海から上流までのイラストをA3でそれぞれ印刷し使用します。

「作ったアユを使って旅に出てみませんか？」

「秋の終わり、下流域で孵化し海へ下降するよ」

「冬は波打ち際で稚魚同士で群れで春を待つよ」

「暖かくなった春、上流を目指し川を遡上し始めるよ」

などなど

【分かち合い・まとめ】

○森川里海のつながりについて考える・・・④

森川里海のイラスト上にダムの模型を置くことによってアユに影響があるかを考えてもらいます。

森川里海のつながりが施設によって物理的に繋がりが失われていること、アユは様々な影響によって減少していることを伝えます。

○私達にできることはなにかを考える。

子どもたちへ日々の暮らしの中で自然のためになにができるか、多くの鮎を川に戻ってきてもらうためにはどのような行動をとればよいかを考えてもらいます。

○できることのまとめと共有・・・⑤

分かち合いの際に上がったものを3つほどにまとめ共有します。上がらなかった場合もあるので、考えておくとスムーズにまとめることができます。

「1つ目はたくさんの生き物を知ること」

「2つ目は食べ残しを減らし、川に汚れを流さない」

「3つ目は水や電気の無駄遣いをしない」

「簡単なことから自然に目を向けて森川里海のつながりにも目を向けていきましょう！！」

【備考】

- 本プログラムはアユを題材に森川里海のつながりに気がつくことのできる内容となっております。対象は小学校の4年生～6年生の理科や社会科、総合の時間で扱うことのできる内容です。幅広く扱うことのできる内容になっており、アユは一生を1年で終える生き物なので年間を通しての授業も想定することができます。
- ペーパークラフトだけならば小学校低学年からでも作成することができます。その際は作成後、アユの形態や資料内にあるアユの動画資料や写真などを活用し、アユの生活史について触れ海と川を行き来することを伝えると良いでしょう。